

大阪大学蛋白質研究所先端核磁気共鳴装置群利用報告書
(トライアルユース講習会・性能試験利用)

利用企業名	ブルカーバイオスピン株式会社
利用者部署、 職位、氏名	アプリケーション部 課長代理 佐藤 一
連絡先 住所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守谷町 3-9
連絡先 電話番号 Fax、E-Mail	TEL : 045-444-1391 FAX : 045-453-2458 E-mail : hajime.sato@bruker-biospin.jp
利用課題名	<input checked="" type="checkbox"/> 装置性能試験 <input type="checkbox"/> 講習会
利用実施時期及び期間	平成 25 年 8 月 23 日 ~ 平成 25 年 8 月 25 日 総利用日数 : 3 日
利用NMR装置	<input checked="" type="checkbox"/> 950 MHz (超低温プローブ、溶液) <input type="checkbox"/> 800 MHz (超低温プローブ、溶液) <input type="checkbox"/> 700 MHz (固体) <input type="checkbox"/> 600 MHz (超高感度固体 DNP) <input type="checkbox"/> 600 MHz (溶液) <input type="checkbox"/> 500 MHz (固体) <input type="checkbox"/> 500 MHz (溶液) <input type="checkbox"/> 400 MHz (溶液)
講習会または性能試験 の内容	<input type="checkbox"/> 実験方法取得のための講習会 <input type="checkbox"/> 操作方法習得のための講習会 <input checked="" type="checkbox"/> 性能試験 (線幅、パルス幅の測定など) 内容 INADEQUATE について、950MHzNMR 装置で、TD1 のポイントをどの程度削っても問題ないか、調べた。TD1=128 ポイントの INADEQUATE では、感度のよい 950MHz 装置においても、全データの 12.5% まで削ると信号が得られないことがわかった。性能試験ではデータが得られなかったため、トライアルユースとして申請予定である。
通信欄	(上記の項目以外でご意見等あればお願いします。)

本報告書については、印刷または必要な編集・加工を行った上で公開します。また、別途開催予定の成果報告会・シンポジウムや委託事業報告書作成時において、本報告書の内容についての資料作成または発表をお願いする場合があります。

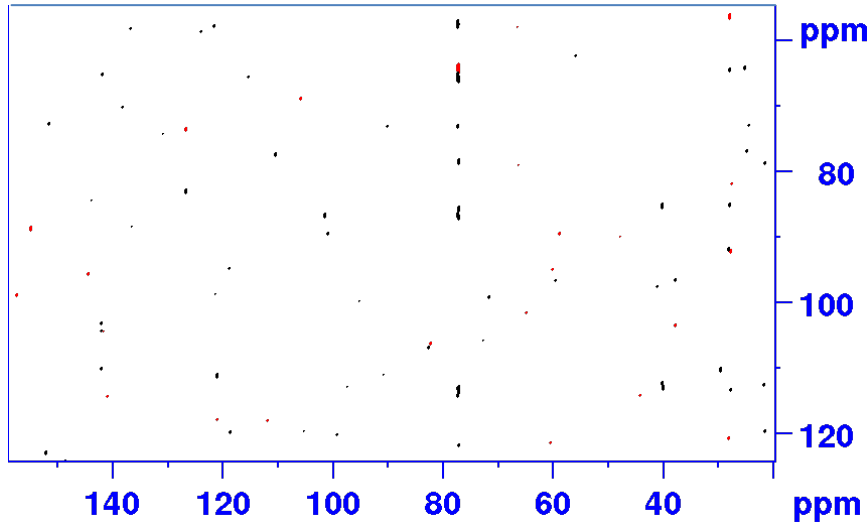
試料：キニーネ

溶媒：CDCl₃

濃度：100mg/mL

パラメータ：TD1=128, NS=256, P1=12.3us

パルスプログラム：inadphppsp



INADEQUATE from 12.5% of the data.